

<第2回運営委員会>

平成12年10月11日(水)

於：茨城県開発公社 3階会議室

出席者：20名

第1部 各班会議 13:00～15:00 (於:小3・中4会議室)

総務班、広報班、事業班、分科会班に分かれて、各班のテーマに沿って打合わせ。

第2部 合同会議(第2回運営委員会) 15:00～17:00 (中4会議室)

議題 各班会議の審議結果報告
連絡系統図について
その他

<決定事項>

(1)各班の報告

1. 総務班

役員名簿の未確認グループは、建設コンサルタントG、測量G、PCグループの3グループで、変更があれば確認の上、総務班または事務局に報告する。

現地見学会については、見学のルートの見直しを含め、土木研究所内の見学先の選定をする。
詳細日程を設定しアナウンスする。

2. 広報班

「研究会」だよりの各テーマの執筆は、10月25日をめどに事務局より依頼する。

「私の職場紹介」では、官・学・民の各グループから平均に割り当てる必要がある。

3. 分科会班

・新全総班から報告・・・[別紙参照](#)

平成12年度の活動計画は、「いばらきらしい21世紀のまちづくり」をテーマとし、平成13年度には、記者発表を予定。

具体的な調査事例箇所として、笠間市を選んで現状分析を行い、町づくりの課題やその解決の方向を探る。

・みどり班からの報告

サービス対象として「子供」に着目し、校庭の空きスペースで子供がのびのびと遊び、本来の子供らしさを回復できる空間づくりを目指し、調査検討を進める。

具体的に、わんぱく空間設計や子供と高齢者がともに遊べる仕掛け作りを考える。

・建設遺産からの報告・・・[別紙計画書](#)参照

県内の建設遺産の現地研修会(県央・鹿行編)の実施と「研究会だより」への県内の建設遺産の紹介をシリーズ化して連載する。

活道予算は、現地研修会、各種研究テーマの資料収集等で合計25万円の計上が承認された。

(2)会の全体の運営について

連絡体制網図は、大学G・造園Gで提出された。前回提出は、茨コンGのみなので他グループも早急に作成し、事務局へ提出のこと。

情報伝達手段は、運営委委員または会員には総務班員を通じてEメール,Faxによるものとし、直接会員全員へはホームページにアクセスすることで、活用を図る。

(3)その他の議題について

地質調査グループより

10年ぶりに改定となった「土質試験の方法と解説」に関する講習会を、地盤工学会の協力により、県内で開催したいとの計画があるので、1日程度のダイジェスト版とした場合、費用と参加者についての意見を聞きたい。

テキスト代が高くなることと、参加するグループが限られてくるなど再度アンケートをする必要があるとの意見が多かった。

山峡ダムツアーについて

参加人員が現在の所10名であり、規定の15名に満たないため、計画が中断している。視察時期を平成13年の5月連休明けか、6月2日の週に延期したいので参加希望者を再度募集したい。

(4)次回第3回運営委員会について

開催予定 : 平成12年11月7日(火) 午後3時～午後5時まで
開催場所 : 市町村会館 203会議室
議 題 : 「研究会だより」の最終原稿について
講習会の中身とスケジュールについて
未計画の分科会活動計画の発表について
その他